

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月26日

計画の名称	木津川市における公営住宅の長寿命化と居住環境の向上（第2期）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	木津川市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐久性の向上や、躯体の劣化の低減、維持管理の容易性向上の観点から外壁改修等の長寿命化型改善事業を行い、更新コストの削減と事業量の平準化を図る。</li> <li>・経過年数の増加に応じて修繕コストが増加することから、建替事業を行い、将来的に発生するコストを削減する。また、建替事業によって耐震基準を満たす住戸になることから、入居者に対して安心安全な住宅を提供する。</li> <li>・本計画期間終了以降の事業を見据え、本計画の期間内に次期長寿命化計画を策定する。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	146	A	145	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.68	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)
1	・長寿命化改修工事を行った住戸の割合 外壁改修等により躯体の長寿命化改修が図られた住戸の割合 （長寿命化改修実施済住戸の割合）＝（長寿命化改修実施済戸数）／（全管理戸数）	15%	40%	40%
2	・建替事業を行い、耐震基準を満たした住戸の割合 現行耐震基準を満たしている住戸の割合 （現行耐震基準を満たしている住戸の割合）＝（現行耐震基準を満たしている戸数）／（全管理戸数）	40%	40%	51%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	木津川市	直接	木津川市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	下川原団地 長寿命化型改善(外壁)2棟66戸	木津川市						61	-	策定済	
	A15-002	住宅	一般	木津川市	直接	木津川市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等整備事業)	清水団地 公営住宅の整備(建替)15棟30戸	木津川市						78	-	策定済	
	A15-003	住宅	一般	木津川市	直接	木津川市	-	-	住宅地区改良事業等(更新住宅建設事業)	小谷下団地他 改良住宅の整備(建替)20棟40戸	木津川市						0	-	策定済	
	A15-004	住宅	一般	木津川市	直接	木津川市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	公営住宅等ストック総合活用(長寿命化計画)次期計画策定事業	木津川市						4	-	-	
	A15-005	住宅	一般	木津川市	直接	木津川市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等整備事業)	尻枝団地 住宅集約(用途廃止)1戸	木津川市						2	-	策定済	
												小計						145		





事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 木津川市営住宅管理審議会にて実施	事後評価の実施時期 令和6年7月
	公表の方法 市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市営住宅の長寿命化改善に取り組むことで、耐久性の向上や、住宅の延命を図り、居住環境の快適性・安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	令和4年度に第2次木津川市営住宅ストック総合活用（長寿命化）計画の策定を行い、新たな目標供給戸数の見直しと、効率的な住宅管理を行うため、建替や改善事業を行いながら現在の15団地を5団地に集約する計画とした。
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	（長寿命化改修等実施済戸数） / （全管理戸数）	
	最終目標値	40%
	最終実績値	41%
2	（現行の耐震基準を満たしている戸数） / （全管理戸数）	
	最終目標値	51%
	最終実績値	47%

清水団地建替事業の計画全体の見直しと着手の遅れにより、建築完了戸数が目標数を下回ったことによる。